

令和3年度 共同募金運動開始セレモニーを開催

10月1日、ふれあいランド岩手を会場に、岩手県共同募金会（長山洋会長）と盛岡市共同募金委員会（川村裕会長）との共催による令和3年度共同募金運動開始セレモニーが開催されました。

セレモニーは、長山会長の挨拶に続き、寄付金付き商品のPRとして、盛岡市共同募金委員会に株式会社ベアレン醸造所（木村剛代表取締役）が協力したフェストビールと、岩手県共同募金会に株式会社紫波フルーツパーク（熊谷泉代表取締役）が協力した赤ワインが紹介されました。

また、株式会社ベルジョイスとサントリーフーズ株式会社が協力している寄付金付き飲料販売による寄付金660,302円が、株式会社ベルジョイスの菊池甚成取締役常務執行役員から長山会長に贈呈されました。

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、街頭募金やイベント募金が縮小されていますが、あなたの町のために使われる共同募金に、ご協力をお願いします。



セレモニーの参加者

生命保険協会岩手県協会地域福祉のために 車椅子・福祉巡回車両等を寄贈

10月13日、一般社団法人生命保険協会岩手県協会（高橋博樹会長）から県内の福祉施設等に、福祉巡回車両（1台）、自走式車椅子（8台）、活動助成金（1件）が寄贈されました。

寄贈式では、高橋会長から「生命保険協会のマンパワーで、地域貢献活動に業界一丸となって取り組んでいる。岩手県協会の取組の中で、県内加盟22社約2,400名の営業職員に呼びかけて集まった募金をもとに、福祉車両、福祉機器等をお贈りさせていただく。地域福祉のために活用していただければありがたい」と代表者一人ひとりに目録が手渡され、岩手県社会福祉協議会の長山洋会長が「平成3年から31年間にわたるご支援に感謝申し上げます。新型コロナウイルス禍で財政的に厳しい中、このようなご支援は大変心強く、各団体で高齢者、障がい者、地域住民のために十分に活用してまいります」と感謝を述べました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止支援として、岩手県にも支援金が贈呈されました。



寄贈先代表者と高橋会長（右から2人目）、横山幸司副会長（右端）、長山会長（左端）

災害時の相互連携に向けて日本青年会議所 東北地区岩手ブロック協議会と協定

公益社団法人日本青年会議所東北地区岩手ブロック協議会（八重樫利久会長）と岩手県社会福祉協議会（長山洋会長）は10月13日、ふれあいランド岩手において、「災害時における協力体制に関する協定」を締結しました。

同ブロック協議会は、これまでも県内で大規模災害が発生した際、市町村社協の災害ボランティアセンターにボランティアの派遣や物資提供等の協力を行っています。協定は、同ブロック協議会による支援が、今後も迅速かつ効果的に実施できるよう締結されたものです。

締結式では、長山会長が「被災された住民への生活支援には、様々な機関・団体による連携・協働が重要と言われている。平時からの関係を強化し、災害時の連携・協働による活動の迅速化につなげたい」と述べ、八重樫会長は「締結式をきっかけに岩手のために共に活動していきたい」と話しました。



協定書を交わす八重樫会長（右）と長山会長

日本青年会議所と社会福祉協議会による同協定は、本年1月に全国社会福祉協議会が締結し、今年度、各都道府県及び市町村社協での締結が進められています。

ご支援ありがとうございます

本会事業の推進のため、ご寄付いただき感謝申し上げます。（敬称略）

えいづか内科胃腸科クリニック

10,000円（10月11日）

森 敬司

20,002,567円（10月28日）

（一社）岩手県警備業協会

マスク2,000枚（11月1日）

名郷根法育

9,000円（11月4日）



新任職員の紹介

本年9月から、岩手県社会福祉協議会に次の職員が配置されました。どうぞよろしく申し上げます。

▶ 地域福祉企画部・生活支援相談室

今川 浩邦 生活福祉資金相談員